

岐阜県立東濃フロンティア高等学校

校 長 原 恵市

学校住所 土岐市泉町河合1127-8 電話 0572-55-4151

1 会議の名称 岐阜県立東濃フロンティア高等学校評議員会（第2回）

2 会議の構成 委 員 安藤 実 泉町河合区長
貞任由美子 本校育友会副会長
成瀬 直幸 東濃鉄道多治見営業所助役
松本 律子 土岐市保護区保護司会
山田 利彦 土岐市泉西公民館館長（五十音順・敬称略）

学 校 側 原 恵市 校長
白石 秀史 副校長
岩島 章雄 教頭
原 美代 事務部長
伊納 義朗 教務主任
杉本 知宏 生徒指導主事
清水 香織 進路指導主事

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や地域の関係機関の代表者及び有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、「開かれた学校づくり」、「特色ある学校づくり」を推進する。

4 会議の開催 令和3年1月下旬～2月中旬 書面にて開催

5 会議の概要

<会議資料>

- (1) 令和2年度教育指導の重点及び学校評価アンケート結果
- (2) 各分掌の取り組み及び新型コロナウイルス感染拡大防止について
- (3) 東濃フロンティア高等学校の校則について

<評議員の主な意見>

(1) テーマ：令和2年度教育指導の重点及び学校評価アンケート結果について

- 意見1：生徒の評価と保護者の評価が大きく乖離しているところもなく、安定した評価が得られているようである。部活動や生徒会活動に関する評価が多少低くなっているが、近年の生徒の特色として中学校でも同じような傾向が見られ、3部制という点も考慮するとやむを得ない部分もあるように思われる。
- 意見2：「清掃が行き届いており校内がきれいである」という項目の評価が上がっていることは、コロナ禍において、感染拡大防止の観点からも良いことである。
- 意見3：多少評価が下がっている項目もあるが、多くの項目で毎年高い評価を得られており、しっかりと管理の下で学校運営がなされていることがうかがわれる。
- 意見4：どの項目も7～8割以上の保護者からAまたはBの評価が得られているのは、先生方が日々生徒のために尽力しているおかげであり感謝している。しかし項目によっては少数ではあるがCやDの評価をしている保護者もいる。そうした点も念頭に置き、少数の意見にも耳を傾けて、よりよい学校にしていきたい。
- 意見5：評価項目が多く、様々な観点での評価が得られることは良い。保護者からの評価で、「学校からの文書が届いている」「災害時の対策マニュアルが知らされている」「教育相談に力を入れ、生徒一人ひとりを理解することに努めている」等の項目の評価が高く、学校、生徒、保護者の間の連携が取れていると感じられる。

(2) テーマ：各分掌の取り組み及び新型コロナウイルス感染拡大防止について

- 意見 1：教務部のノート学習や公開授業の取組は大変良いことであり次年度以降も継続してほしい。また、教育相談部については、大変手厚い指導体制が整えられていると感じた。
- 意見 2：生徒指導部のボランティア活動については、本年度はコロナ禍により中止となる活動も多く残念であったが、地域の中高生によるボランティアチームが設立されたので、東濃フロンティア高校の生徒も是非参加してほしい。
- 意見 3：生徒の自己肯定感を育み、生徒が安心して学び社会人として自立できるよう支援するという目的の下で教育活動が行われていることは大変良いことである。また、東濃特別支援学校との共同学習は、ノーマライゼーションの考えに触れるとともに、自己有用感や社会性を育むために大切な取組であり、今後も継続してもらいたい。
- 意見 4：新型コロナウイルス感染症拡大防止のための種々の対策を講じながら、多岐にわたる教育活動を行えたことは素晴らしい。まだまだコロナ禍は続くと思うが、生徒の安全と健康に留意しつつも、教職員自身の健康にも気を付けて頑張ってもらいたい。
- 意見 5：コロナ対策については、重症化しにくいと言われる高校生などの若者に対して繰り返し教育することで、周囲への感染防止につながる。今後も引き続き真剣に、丁寧に指導を続けてほしい。
- 意見 6：丁寧な資料により、学校でのコロナ対策についてよくわかった。通学のバスにも手指用消毒液等が設置してあるので、校内だけではなく日常生活の様々な場面において感染防止対策を習慣づけるよう指導を継続してもらいたい。
- 意見 7：多忙な中、校門での健康チェックや校内の消毒等を行っていただき、教職員には感謝している。リモート授業があったとはいえ、例年より授業日数が少なく、通常授業においても種々の制約があり、特に3年生にとってはつらい時期もあったと思うが、感染拡大防止に配慮しながら熱心に指導していただいた教職員に、生徒は感謝していると思う。

(3) テーマ：東濃フロンティア高等学校の校則について

- 意見 1：大枠のルールは設定してあるが、細かい規則は設けておらず、生徒に社会のルールやマナーを考えながら行動させている点が良いと思う。
- 意見 2：校則の内容自体には問題となる点は見当たらないが、文章表現について修正したほうがよいと思われる点があるので、検討してもらいたい。

5 会議のまとめ

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、特別措置法に基づく緊急事態宣言の対象地域に岐阜県が指定されているという状況を鑑み、本年度の第2回学校評議員会は書面での開催とした。上に挙げた3つのテーマについて、本校の取組を説明する資料を学校評議員の方に送付し、文書によりご意見やご提言をいただいた。評議員の方々は丁寧に資料をお読みくださり、各評議員から貴重なご意見をいただいた。

本年度はコロナ禍により様々な制約がある中での学校運営であったが、感染拡大防止対策を講じながら工夫をして教育活動を展開した点について、各評議員から一定の評価をいただいた。コロナ禍を機に蓄積したICT機器活用等のノウハウは、本校及び本校職員の財産として、仮にコロナ禍が終息したとしても平時、非常時を問わず今後の教育活動に活かしていきたい。また、校則についていただいたご意見については、早速校内で検討をして、修正が必要な部分については修正を加えて生徒に提示したい。